



Kaspersky®
Hybrid Cloud
Security

ハイブリッドクラウド環境向けに高度な 多層防御型保護機能と統合管理機能を提供

ハイブリッドクラウドを利用する上での課題:

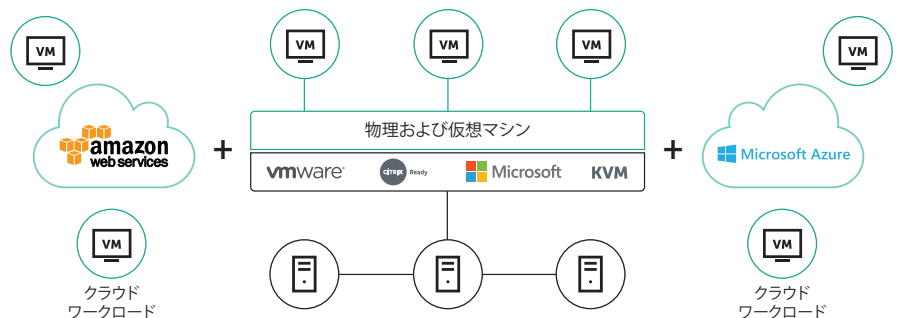
- ・ インフラストラクチャの複雑さが増大することによる透明性の低下
- ・ 真の意味で信頼できるセキュリティは多層型統合でのみ実現可能
- ・ 従来型のセキュリティによるシステムリソースの浪費
- ・ 管理対象や管理ツールが分散していることによる管理工数の増大
- ・ 非効率な設計のセキュリティによる非効率なシステムプロセス
- ・ マルウェアとランサムウェアによる、物理エンドポイントと仮想エンドポイントへの攻撃
- ・ コンプライアンス違反を招くサイバーセキュリティの備えが不十分
- ・ 事後対応型のセキュリティソリューションでは脅威に対し予防的防御ができない

Kaspersky Hybrid Cloud Security を選ぶ理由

1. 物理、仮想、パブリッククラウドのワークロードに対応した設計
2. プライベートデータセンターを保護する多層型統合セキュリティ
3. AWS および Azure パブリッククラウド向けのシームレスで自動化された俊敏性のあるセキュリティ
4. 責任共有モデルの保護に必要なセキュリティツールをオールインワンで提供
5. ハイブリッドクラウド全体にわたるエンタープライズレベルのセキュリティオーケストレーション

パブリッククラウドやホステッドクラウドのリソースをオンプレミスの機能と組み合わせることで、費用対効果に優れた IT 環境を構築できます。しかし同時に新しいセキュリティの懸念事項ももたらされます。ハイブリッドクラウド環境に移行する際には厳格なセキュリティ標準をビジネスインフラストラクチャ全体に適用する必要があり、これに失敗すると組織の最も価値ある資産、すなわちデータと人が危険にさらされることになります。

Kaspersky Hybrid Cloud Security は、シームレスにオーケストレーションされた適応型のサイバーセキュリティエコシステムを実現します。重要なビジネスデータを処理し保存する場所（プライベートクラウド、パブリッククラウド、あるいはその両方）にかかわらず、俊敏性のある継続的なセキュリティと優れた効率性を完璧なバランスで組み合わせて、システムのパフォーマンスを損なうことなく、現在の、そして将来の最も高度な脅威からワークロードを保護します。



物理、仮想、クラウド環境に対応する次世代型セキュリティ

- ・ 特許取得済みの技術と受賞歴のあるサイバーセキュリティエンジンによりすべてのワークロードを完全に保護
- ・ 機械学習を組み込んだ多層型のリアルタイム保護によりデータ、プロセス、アプリケーションを最新の脅威から保護
- ・ データセキュリティに対する総合的アプローチによって、GDPR に完全準拠

リソース効率の高いハイブリッドクラウド向けセキュリティ

- ・ エージェントレスで軽量のエージェントベースの仮想マシン技術により、パフォーマンスに影響することなく、ソフトウェア定義のデータセンターを保護
- ・ ネイティブのパブリッククラウドおよびマネージドクラウドのセキュリティと統合することで、リソースのフットプリントを最小限に抑えながら、アプリケーション、OS、データフロー、ユーザーを保護
- ・ 物理リソースと仮想リソースの統合管理によって管理を効率化

統合管理とオーケストレーション

- ・ 管理の容易さとセキュリティオーケストレーションが複数のクラウドにわたってシームレスに作用
- ・ 最も高度な脅威に対する完全な可視性、コントロール、総合的な保護を、あらゆる場所のすべてのワークロードに対して確実に適用
- ・ 容易なセキュリティサービスのプロビジョニングとポリシーベースの運用をハイブリッドクラウド全体で実現可能

シームレスなオーケストレーション

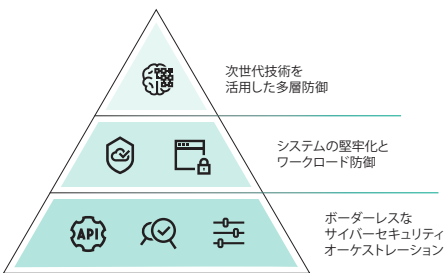
オンプレミス、クラウド内のすべてのソフトウェア資産を単一のコンソールから統合的に管理することで、完全な可視性と透明性を確保し、スムーズで効率的なオーケストレーションと管理を実現します。

統合サイバーセキュリティ

ソフトウェア定義型データセンターおよびマネージドクラウド、パブリッククラウド全体で、物理、仮想を問わず、すべてのワークロードとデバイスに、端から端までの統合されたセキュリティをもたらします。

次世代型の保護

機械学習によって支えられるマルウェア対策と多くの保護技術および防止技術、さらにクラウド支援型の脅威インテリジェンスが組み合わさった、クラウドワークロード向けのリアルタイム多層型保護製品です。



あらゆるクラウドに対応する統合セキュリティ:

パブリッククラウド

- Amazon Web Services (AWS)
- Microsoft Azure

プライベートデータセンター

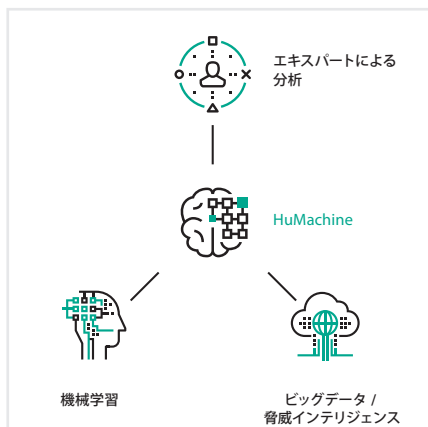
- VMware NSX
- Microsoft Hyper-V

VDI 環境

- VMware Horizon
- Citrix XenDesktop

物理サーバー

- Windows
- Linux



重要なのは卓越した技術

ボーダーレスの可視性

- **統合的なセキュリティオーケストレーション**によって、オフィス内、データセンター内、クラウド内で利用されているすべてのデバイス(エンドポイント、サーバーを含む)のサイバーセキュリティの管理が単一コンソールから可能
- **クラウド API をシームレスに** AWS および Azure のパブリック環境と統合することで、インフラストラクチャの探索、自動セキュリティエージェントのデプロイ、ポリシーベースの管理、さらには容易なインベントリとセキュリティのプロビジョニングも実現
- **柔軟な管理オプション**には、マルチテナント機能、権限ベースのアカウント管理、役割ベースのアクセスコントロールがあり、これらによって柔軟性を維持しながら、単一サーバーからの統合オーケストレーションのメリットも持続

クラウドワークロードの保護

- **アプリケーションコントロール**によって、すべてのハイブリッドクラウド上のワークロードを「デフォルト拒否」モードで厳格に管理し、さらに最適なシステムの堅牢化、および実行できるアプリケーションとその場所、許可されるアクセス先の指定が可能
- **デバイスコントロール**によって、個々のクラウド上のワークロードにアクセス可能な仮想化デバイスを指定し、ウェブコントロールではインターネットベースのサイバー脅威から保護
- **ネットワークのセグメント化**によって、ハイブリッドクラウドインフラストラクチャのネットワークを可視化し、自動的に保護(特定のネットワークやポートのポーリング、VMware NSX などのソフトウェア定義ネットワークプラットフォームとの統合を含む)
- **脆弱性からの保護**によって、高度なマルウェアやゼロデイの脅威がパッチ未適用の脆弱性を悪用するのを防止

HuMachine テクノジを活用したランタイム保護

- **特許取得済みの技術と受賞歴のあるサイバーセキュリティエンジン**によって、すべてのクラウド上のワークロードを保護
- **クラウドベースのインテリジェンス**によって、新しい脅威を迅速に特定し、ビジネス環境を保護
- **メールとWebの脅威から保護**し、仮想とリモートデスクトップの安全を確保
- **ファイル変更監視**によって重要なシステムファイルを監視するとともに **Windows イベントログ監視**によってブルートフォースアタックやWindowsイベントログの悪用の可能性など異常なふるまいを検知して管理者に通知し、運用面での継続的な予防効果を提供
- **ふるまい分析エンジン**によってアプリケーションとプロセスを監視し、高度な脅威やファイルレスマルウェアからも保護
- **脆弱性攻撃ブロック**によって、OSやアプリケーション(Adobe ReaderやJavaなど)に対するエクスプロイト特有の動作を識別し、脆弱性を悪用する攻撃をブロック
- **ランサムウェア対策**によって、クラウド上のワークロードおよび共有ネットワークを攻撃から保護し、感染したファイルを以前の暗号化されていない状態にロールバック
- **HIPS / HIDS** によって、クラウドベースの資産へのネットワークベースの侵入を検知または防止

Kaspersky Hybrid Cloud Security は業界に高く評価されている複数のセキュリティ技術により、物理から仮想へ、そしてクラウドへと変化するビジネスIT環境の安全な移行をサポートします。同時に可視性と透明性によってエンタープライズレベルのセキュリティオーケストレーションを実現します。

※ ライセンス(エディション)やプラットフォームの違いにより、ご利用いただける保護機能に差異があります。

株式会社カスペルスキー

企業向けサイバーセキュリティ: www.kaspersky.co.jp/enterprise/
サイバー脅威に関する最新情報: www.securelist.com
IT セキュリティに関する最新情報: blog.kaspersky.co.jp
ご購入相談窓口: jp-sales@kaspersky.com

#truecybersecurity

www.kaspersky.co.jp

© 2018 Kaspersky Lab. All rights reserved.
Kaspersky およびカスペルスキーは Kaspersky Lab の登録商標です。その他記載された製品名などは、各社の商標もしくは登録商標です。なお、本文では、®は記載していません。